

Support

こども宅食応援団では「親子のつらいを見逃さない社会」を一緒に作っていく、クルー（仲間）を募集しています。こども宅食を全国に広げていく活動を支えるための寄付、共感の輪を広げていくシェアや「いいね!」、お勤め先の企業を通じた支援など、あなたにあった応援方法で、活動に参加しませんか？



ふるさと納税で応援

あなたのふるさと納税で
親子の命をつなごう

ふるさと納税型クラウドファンディングにご支援ください

こども宅食 佐賀



<https://www.furusato-tax.jp/gcf/803>

◀この画像が目印！



こども宅食応援団への寄付はふるさと納税を用いて行えます。ふるさと納税は、税金の納め先や希望する使いみちを指定できる制度です。ワンストップ特例申請書または確定申告の手続きによって税額控除が行われるため、実質2000円の負担で数万円の寄付ができます。（収入額に応じた寄付額シミュレーションもできます）昨年度は768名の方にご支援いただき、4570万円で目標達成しました。ご支援いただいたみなさんありがとうございます！



その他の支援方法

SNSで応援

TwitterやFacebookのフォローや、「いいね」や「RT、シェア」で応援をお願いします！「#こども宅食」のハッシュタグを入れた投稿やブログ記事なども大歓迎です！



Twitter



Facebook

メディアで取り上げる

TV・新聞・雑誌・ラジオ・WEBなどの各種メディアの取材やご紹介も大歓迎です！



取材申し込み

<https://hiomare-takushoku.jp/req>



パートナー企業のみなさま

こども宅食応援団をさまざまな形で支えていただいた企業のみなさんを一部ご紹介します。（敬称略・50音順）

- ウイングアーク1st株式会社
- 特定非営利活動法人おてらおやつクラブ
- カルビー株式会社
- コストコ（Costco Wholesale Japan）
- 株式会社JTBメディアリテリング
- 一般社団法人自然基金
- 自然電力株式会社
- 合同会社西友
- ダノンジャパン株式会社
- 株式会社デファクトスタンダード
- 日本ロレアル株式会社
- 一般財団法人村上財団
- UBSグループ
- 株式会社六次元



※「こども宅食」は登録商標です

発行日 2020年7月
発行元 一般社団法人こども宅食応援団
デザイン NPO法人Co.to.hana



こども宅食応援団

ANNUAL REPORT 2018 - 2020



Action

親子のつらいを見逃さない社会へ

こども宅食応援団は、経済的に厳しい家庭の孤立や、必要な支援を受けられない状況を変えていくきっかけのひとつ「こども宅食(※)」を全国にひろめる活動をしています。

こども宅食の立ち上げ支援や、実施団体へのノウハウ提供やサポート等を行います。さらに、政策提言などを行い、こども宅食事業が全国的に継続されるようなモデルや仕組みづくりも行います。

※「こども宅食」とは
経済的に厳しい子育て家庭等に定期的に食品のお届けを行い、繋がりを持ち、必要なときには支援に繋げるアウトリーチ型の見守り支援です。



こども宅食応援団が取り組むこと



こども宅食モデルを
改良し続け進化させる



全国のこども宅食モデル
導入団体に伴走支援を行う



全国でこども宅食モデルが
継続できる仕組みをつくる



みなさんと一緒に取り組んだAction

2018.10
一般社団法人 こども宅食応援団設立

佐賀県のCSO誘致(※P6参照)を受け、佐賀県を拠点にこども宅食を全国に広めるための資金助成・伴走支援・広報啓発を行う一般社団法人 こども宅食応援団を設立



2019.2
佐賀で助成事業を開始／2つの事業を立ち上げ

佐賀県にてこども宅食に関する助成事業を立ち上げ、同時に推進支援を開始し、佐賀県の2団体に対して助成決定。伴走支援を開始。
「とどけYELL」と「おなか一杯便」



2019.4
全国各地域の実施団体の伴走支援を開始

宮崎県、新潟県など全国各地でこども宅食事業を立ち上げた団体に伴走支援を開始「みまたん宅食どうぞ便」「にいがたお米プロジェクト」

2019.8~10
各地の関連事業団体を視察

福井県越前市、東京都江戸川区など、先進的に宅食事業やアウトリーチを行っている団体を視察し、こども宅食に使用できる知見を集める

2019.10
長崎でこども宅食事業が始動

長崎県での事業立ち上げに関する記者会見を開催
「つなぐBANK〜フード&グッズ〜」



2019.10
第1回こども宅食サミットの開催

全国のこども宅食事業者、自治体関係者、与野党議員、有識者等が集まり、こども宅食のこれからについて話すサミットを開催



2019.12
「子供の貧困対策に関する大綱」を解説

成立以来初めての見直しがされた「子供の貧困対策に関する大綱」に「支援が届かない、届きにくい子ども・家庭とつながること」などのこども宅食が取り組む課題が取り上げられたことをうけ、解説記事を発信

2019.12
京都でこども宅食事業が始動

京都府京都市で「京都こども宅食プロジェクト」を始動し、社会福祉法人代表・京都市長とともに記者会見実施



2020.1
宮崎で3つのこども宅食がスタート

「つのんお福分け」「宅食くにとみつむぎ便」がこども宅食開始
「おむす便」の伴走支援開始

2020.1
宮崎で講演に登壇

100名以上が集まった宮崎県後援の勉強会「子どもの貧困問題をどうこども宅食で解決するか？」に登壇

2020.4
最南端のこども宅食誕生！

沖縄県で初の県内全域をサポートするこども宅食「おきなわこどもの未来ランチサポート」が始動

2020.4
新型コロナこども緊急支援開始

休業要請による失職や収入減、休校等による支出増でさらに困窮してしまう家庭をサポートするため緊急支援を開始し、既存団体への助成や新規団体の立ち上げ支援を実施

2020.5
2020年度クラウドファンディングスタート

30,000,000円を目標に2020年度活動費のクラウドファンディングを開始



2020.5
佐賀・宮崎・仙台・熊本でこども宅食開始

佐賀県佐賀市「さが・新型コロナこども緊急支援プロジェクト」を立ち上げ支援、宮崎県都城市「みやこのじょうこども宅食」開始。新型コロナ緊急支援では宮城県仙台市「仙台こども宅食」、熊本県「てとてとておたがいさまBOXプロジェクト」がこども宅食を開始

2020.5
こども宅食利用家庭1000世帯アンケート実施

こども宅食の利用家庭1,000世帯にアンケートを実施し、新型コロナに関する影響を調査

2020.6
こども宅食
全国19団体に広がる

兵庫県播磨地域「フードバンクはりま」、山梨県「フードバンク山梨」、東京都豊島区「としまフードサポートプロジェクト」が新型コロナ緊急支援でこども宅食を開始。奈良県吉野町「もぐハグ便」の立ち上げ支援を実施、秋田県「秋田たすけあいネットあゆむ」の伴走支援を開始

P.7をcheck!

全国で広がる“こども宅食”アレンジモデルの数々！

佐賀2団体の立ち上げ支援から始まったこども宅食応援団の活動は、今や全国19団体にまで増え、各地域の親子を支えています。こども宅食を実施するのは、こども食堂やフードバンクなどの「食の支援」から始まった団体と、社会福祉協議会やひとり親家庭支援団体などの「相談支援」から始まった団体があります。こども宅食は、食支援を入口にご家庭と継続的なつながりを持ち、相談支援等のサポートに繋げることができる事業です。

宅食支援

緊急支援

新型コロナウイルスによる影響をうけ、「こども宅食」に方法を変えて支援を実施するこども食堂やフードバンク等に、ノウハウ提供や資金助成等による緊急支援のサポートを行い、全国で緊急支援が実施されました。

① 佐賀県佐賀市

とどけYELL

2019年6月より開始し、ひとり親家庭の保護者に毎月、食品等を手渡しで提供しています。お届け時に各家庭と対面で会話しながら、個別のニーズにそってお届けする食品等を選んでるのが特徴です。訪問時の会話により少しずつ関係性ができ、家庭の様子が見えるようになってきました。



コロナ対策 臨時休校措置が発表されてすぐに週2～3回、子どもたちだけで留守番している家庭にお菓子を持って訪問する「見守り宅食」を開始しました。玄関先でお菓子を渡しながらかお子さんと簡単な会話を交わし、おうちでの様子を保護者にLINEで知らせます。

② 佐賀県佐賀市

おなか一杯便

小学校区で行うこども宅食。学校・保護者・地域の有志メンバーが一体となり実施している地域主体の子育て応援プロジェクトです。お届けする食品は校区内のスーパー等で購入。お米も校区内の地域の方が田植えしたお米で、食料も地域で集めているのが特徴です。



③ 長崎県長崎市

つなぐBANK～フード&グッズ～

坂が多く宅配が難しい土地柄に合わせ、毎回異なる指定の場所で行う「宅所」型のこども宅食を実施しています。宅所で行う強みを活かし、食品配布時に託児をしながら、弁護士相談、家計相談、歯科医相談などが行えるブースを設けており、相談実施件数が多いことが特徴です。



コロナ対策 農家からいただいた新鮮な野菜やカップ麺等を宅所でお渡しした他、学校休校中にも頑張っている市内の学童へパンやおもちゃなどの提供支援も実施しました。

④ 宮崎県三股町

みまたん宅食どうぞ便

「地元の食材を、集まった分だけみんなで分けよう。」という気持ちで「どうぞ便」と名付けられました。全国に先立ち開始された社会福祉協議会が実施する相談先行型のこども宅食で、多くのこども宅食実施団体がこの三股町モデルを参考にしています。



コロナ対策 ボランティアの衛生管理を徹底して活動を継続。学校の休校が始まった3月上旬には、給食センターから譲り受けた野菜を配ったり、感染拡大による暮らしへの影響を利用者から聞き取ったりしました。

利用者の言葉

野菜をいっぱい頂けてすごい助かってます。子どもたちは2人とも野菜が大好き。でも野菜が高いので、普段食べさせるのが難しくて... 買い物も子どもたちが騒いだりするので、どうしても怒ってしまうことがあるんですが、買い物に行かない分、子どもたちとよい時間を過ごせるのも良かったです。

⑤ 新潟県新潟市

にいがたお米プロジェクト

新潟ならではの地元JAからのお米の寄付や、地元フードバンクからお菓子等食品の供給を受け、研修を受けたボランティアと有志のメンバーで、生活の厳しいひとり親家庭に毎月無料でお米と「安心」を届けます。



コロナ対策 休校で余ってしまった給食用食材を家庭や学童に配布したり、JAと協力してお米を集め、ひとり親家庭に緊急食糧支援を実施しました。

⑥ 秋田県全域

秋田たすけあいネットあゆむ

全国ワースト5に入る貧困率が高い秋田県。特にひとり親世帯の貧困率は高く、年収180万円以下で暮らすひとり親世帯が6割います。母子支援施設等のひとり親家庭に向けて支援を行っています。宅配型の食糧支援は2016年よりさががけて始めており、2020年よりこども宅食応援団との連携での実施が始まりました。

⑦ 京都府京都市

京都こども宅食プロジェクト

社会福祉法人・こども宅食応援団・京都市の3社連携によって始まった、応援団では政令指定都市初となるこども宅食。社会福祉法人の理事長は産婦人科・小児科の医師でもあり「みんなで子育てする社会」の実現のため、出産前から途切れない支援を行っています。



利用者の言葉

中身が分からないように無地の箱での配達でのご配慮、また配達員の方のご丁寧な対応に大変感じが良く、また米や価格が高いと感じる商品まで非常に助かります。何と言っても息子はLEGOブロックに大喜びで毎日遊んでいます。2回目も楽しみです。

宅食支援

- ⑧ 兵庫県播磨地域 フードバンクはりま
- ⑨ 奈良県吉野町 もぐハグ便
- ⑩ 宮崎県都農町 つのんお福分け
- ⑪ 宮崎県国富町 宅食くにとみつむぎ便
- ⑫ 宮崎県高千穂町 おむす便
- ⑬ 宮崎県都城市 みやこのじょうこども宅食

緊急支援

- ⑭ 沖縄県全域 おきなわこどもの未来ランチサポート
- ⑮ 宮城県仙台市 仙台こども宅食
- ⑯ 熊本県全域 てとてとておたがいさまBOXプロジェクト
- ⑰ 東京都豊島区 としまフードサポートプロジェクト
- ⑱ 佐賀県全域 さが・新型コロナこども緊急支援プロジェクト
- ⑲ 山梨県全域 新型コロナウイルス感染症対策 緊急食料支援

各地を視察



2019.10
江戸川区「おうち食堂」

親に障害があったり子どもの養育が難しい家庭等に対し、訪問型の食事支援サポートをしています。区役所の担当を訪ね、官民連携で行う事業の良さやアウトリーチ型の親子支援の課題などをヒアリングしました。



2020.6
第2回 九州沖縄のこども食堂が
つながる研修会 inSAGA

佐賀県の財団、佐賀未来創造基金と県内のNPO向けの講演を実施しました。どのように事業を市民に知ってもらい広げていくかなどについて応援団の取り組みを紹介しました。

About

団 体 名 称：一般社団法人 こども宅食応援団
設 立：2018年10月
WEBサイト：https://hiomare-takushoku.jp/
所 在 地：(佐賀事務局) 840-0824 佐賀県佐賀市呉服元町2-5 COTOCO215
(東京事務局) 101-0051 東京都千代田区神田神保町1-14-1KDX神保町ビル3F

🐦 @takushoku_ouen 📧 @takushoku.ouendan 📷 @kodomotakushoku

理事会メンバー



代表理事
駒崎 弘樹
(認定NPO法人フローレンス 代表理事)



理事
藤沢 烈
(一般社団法人RCF 代表理事)



理事
河合 秀治
(ココネット株式会社 社長)



理事
鴨崎 貴泰
(日本ファンドレイジング協会 常務理事)



理事
村上 純
(一般財団法人村上財団 代表理事)

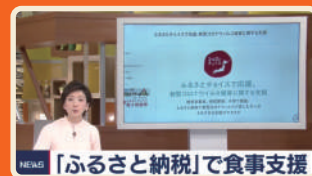
2019年度財務報告

ご寄付の使い道 (千円)		ご寄付と一般正味財産 / 指定正味財産の増減 (千円)	
全国の伴走支援・佐賀での助成事業、およびそのコーディネート(旅費交通費を含む)	18,830	Ⅰ 一般正味財産増減の部	
事業の普及・啓発等の広報活動	5,955	受取寄付金	1
法人運営等の事務局運営	3,584	受取寄付金振替額	39,400
ふるさと納税の募集に関する費用	7,356	受取助成額	1,500
トラストバンク宛の支払手数料*などの手数料	5,331	受取利息・雑収入	202
合計	41,055	経常収益計	41,103
※ふるさと納税寄付を募集するプラットフォーム「ふるさとチョイス」を利用する為の 手数料(期ずれ分を含む)や銀行手数料など		経常費用計	41,055
		当期一般正味財産増減額	48
		※経常外無し	
		Ⅱ 指定正味財産増減の部	
		受取寄付金	47,893
		一般正味財産への振替額	-39,400
		当期指定正味財産増減額	8,493
		指定正味財産期首残高	22,273
		指定正味財産期末残高	30,766

佐賀県のCSO誘致について

佐賀県はCSO(NPOや自治体、PTAなどの市民社会組織)を誘致し、地域課題の解決に取り組んでいます。また、CSOによる地域活動を支援するため、佐賀県のふるさと納税は寄付者が支援したいCSOを指定して寄付をすることができます。CSO支援のふるさと納税は返礼品が無いので、寄付の全額を事業活動に活用することができます。こども宅食応援団は、文京区で始まったこども宅食を全国展開するため、佐賀県に拠点を置き、2019年1月から佐賀県内で説明会を開催し、県内から助成や伴走支援を希望する団体を公募しました。現在は、支援対象を全国の地域へと広げ、こども宅食実施団体への様々な支援を行っています。

メディア掲載実績



テレビ東京「ゆうがたサテライト」



テレビ朝日「ワイド!スクランブル」



NHK「列島ニュース」



新潟日報



西日本新聞



テレビ

NHK / 日本テレビ / KBS京都 / テレビ東京 / さくらんぼTV / KHB東日本放送



新聞

佐賀新聞 / 日経新聞 / 読売新聞 / 毎日新聞 / 朝日新聞 / 西日本新聞 / 京都新聞 / 新潟日報 / 宮崎日日新聞 / 山形新聞 / 河北新聞 / 教育新聞



ラジオ

かわさきエフエム / NBCラジオ



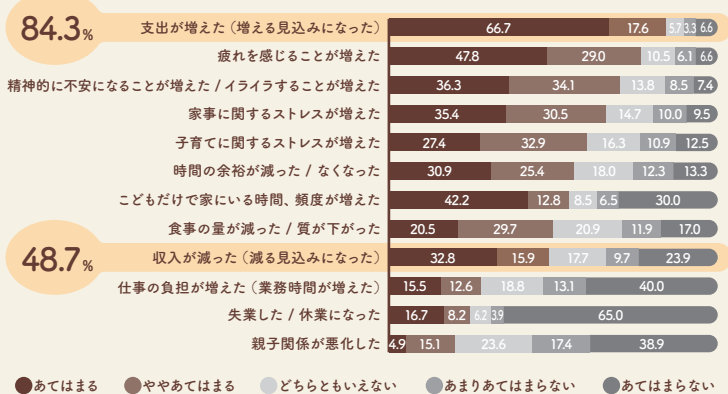
WEB

毎日新聞 / NHK / AllAboutNews / Net IB News / ハーバー・ビジネス・オンライン

調査実施(全国1000世帯アンケート)

こども宅食の利用世帯に、コロナによる影響についてのアンケート調査を実施しました

コロナウィルスやその感染予防(一斉休校)が現在の生活に与えた影響について当てはまるものを選んでください。



生活への影響詳細

コロナ禍で最も影響が大きかったのは支出が増えたこと。「家に子どもだけがいる時間が増え、ご飯等を用意して仕事にでかけるが、食費がかかりすぎて、どんどん食卓が貧相になってしまう。」「息子は知的障害、娘は精神障害があり、身内以外に預ける事は難しいのが現状です。」「オンライン授業に対応するためのパソコンを購入することになった」といった声が寄せられました。また、疲労や精神的な不安、家事・育児のストレスといった影響もしており、コロナ禍がこども宅食の利用家庭にさまざまな面で負荷を与えたことが明らかになりました。

支援の利用状況

今回の調査で、こども宅食の利用家庭が既存の支援サービスにほとんどアクセスできていない現状が明らかになりました。「自営業で窓口が空いている時間に申請に行けない」、「生活保護申請窓口に保育園のママ友がいる」、「支援を受けていることを知られたくないのでこども食堂に行きたくない」、「困ったときにどこに行ってもいいかわからない」など、さまざまな原因で支援にアクセスできない家庭がいます。こうしたご家庭に対しては、書類窓口に来てもらうような既存の「申請モデル」ではなく、こども宅食のように対象者に直接アプローチする「アウトリーチ」が有効であり、コロナ禍で人があつまる、つながるのが難しくなる中で、今後社会全体が必要になっていくと思っています。

以下のサービスや窓口の利用状況について、教えてください。

